

どんぐり村の こみ・すく通信

令和4年12月12日発行 令和4年度 **第18号**
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その12> 「国際理解 世界の国について学ぶ」

更別中央中1年生が11月9日、青年海外協力協会の石井優子さんに来校いただき、社会科で「世界の国々の理解～ケニアから～」と題して授業をしていただきました。

石井さんはアフリカ大陸の国々で幼稚園教諭、保育士等として活躍。海外で経験したこと、感じたこと、生活・文化・言語の違いなどを子どもたちに伝えてくださいました。

アフリカでは、情報通信技術が急成長していて、銀行がなくてもお金を入金、送金できるんです。



石井さんから元気をもらい、生徒も意欲的に挙手。

他の人と一緒になければならないことはない。自分で考え意見が言えるようになることが大事です。



地域の地層や化石から何が分かる？ 小々連携で

11月24日、中札内中学校の岡久保幸先生にご来校いただき、更別小と上更別小の6年生に理科の地層についての授業をしていただきました。



地層の砂から有孔虫を探す

岡久先生は、ナウマン象の発掘にも関わるほど地層には詳しく、授業は、「更別村と十勝の歴史を探る」「化石について知る」がテーマでした。子どもたちは目を輝かせて授業に取り組みました。

これは、2万年前のナウマン象の発掘現場です。足跡が見えますか？



仕組みを学び、議員の方々と意見交換

11月25日、更別中央中3年生が社会科で更別村の議場を訪問しました。議会事務局の佐藤さんから村議会の仕組み等を説明いただき、その後、村議会議員の方々と意見交換を行いました。生徒から村の課題の解決案を議員の方々に提案し、そのことについて現状や課題など各議員から丁寧に説明していただきました。



生徒の提案に対して、高木議長が各議員を指名

生徒からは、「更別村の人口増加に向けて」「道の駅の活用」など、中学生らしい率直な意見が出されていました。授業後、議員の方からは「今の若い人たちの発想が将来につながっていく。」「とても参考になった。」などの感想をお聞きしました。

中学校美術教師が小学校の図工の授業へ



「上手だね。」「この構図はいいね。」「遠近法を使うと・・・」などの声をかけながら、机間巡視。

11月28日、更別中央中学校の美術を担当している戸田絵理子先生が更別小学校に来校。6年生の図画工作「風景画」の授業でたくさんの方のアドバイスをしてくださいました。

保護者の支援を受けて「もちつき会」

12月2日、上更別小学校で参観日を兼ねて「親子おもちつき会」が開催されました。

もちつきは感染対策のため、つき上がったおもちを丸めて食べずに持ち帰りましたが、子どもたちは楽しそうにもちつきに取り組んでいました。

